

特集

未来を見据えたまちづくり

平成28年度予算がスタート

平成28年度のまちづくりが始まりました。市の一般会計予算は、317億9,000万円で、前年度と比較し1億3,000万円の増となりました。これは、村上地区の防災行政無線デジタル化事業および消防救急無線デジタル化事業が終了した一方で、山辺里保育園増築事業、病児保育施設建設事業、旧荒川郷ごみ処理場解体事業、総合戦略事業などの新規事業によるものです。

一人ひとりが幸せを実感することができるような、10年、20年、30年先を見据えたまちづくりに取り組んでいきます。

本号では、平成28年度の主な事業とその予算を、第1次総合計画の基本目標ごとにお知らせします。

※施政方針と予算の詳細については、市ホームページでご覧になれます

支え合い安心して暮らせる思いやりのまちづくり



新規

■介護サービス事業所の拡充 1億1,533万円

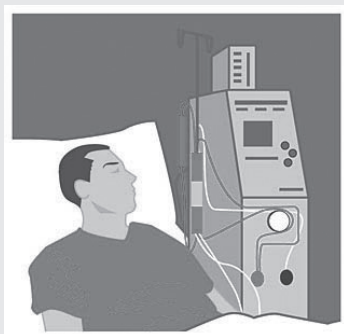
要介護者が能力に応じた日常生活を営むことができるように、介護サービス事業所を整備します。



新規

■多子世帯を応援 7,300万円

多子世帯(3人以上)の保育料を軽減し、子どもを生き育てやすい環境を整備します。(詳細は8ページへ)



新規

■人工透析治療に対する 通院費負担の緩和 485万円

腎臓機能障害者に対し通院費の一部を助成し、通院費の軽減を図ります。(詳細は9ページへ)



新規

■病児保育施設の建設 5,658万円

子どもが病気で仕事を休めないときに一時的な保育を実施できるよう、県立坂町病院敷地内に病児保育施設を建設します。



新規

■山辺里保育園の増改築 7,303万円

保育室を増改築し、未満児の受け入れ人数を増やします。

ほかにもこんなことをします

新規	障がい者の自立支援を応援	201万円
拡充	新緊急通報システムの導入	877万円
拡充	地域互助の支え合いによる絆づくり	120万円
拡充	子育て支援センター開設日の充実	71万円
新規	子どもたちの体力向上事業	17万円
継続	自殺予防対策事業	124万円
拡充	歯科保健事業	1,042万円

自然と景観を守る環境に優しいまちづくり



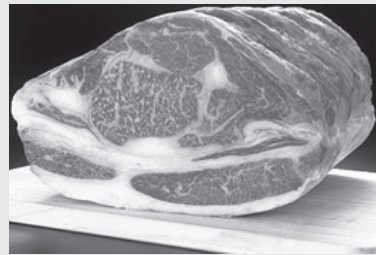
継続

■新エネルギー導入時の支援 2,405万円
住宅用太陽光発電システム設置費および、木質バイオマスストーブ設置費の補助を継続します。

継続

■公共下水道建設費 17億1,269万円
(下水道事業特別会計)
管渠布設工事を引き続き実施し、未整備区域の解消に努めます。

活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり



新規

■市内事業者への支援を強化
1,511万円
7メニューの産業支援プログラム事業補助金により、市内産業の活性化とにぎわいを創出します。

新規

■村上牛のおいしさを全国へ
4,000万円
村上牛認定向上対策事業補助金を新設し、1頭当たり上限10万円を補助します。

ほかにもこんなことをします

新規	水稻共済品質方式加入補助金	157万円
新規	農業担い手支援	300万円
継続	農林水産物の流通・販路拡大の推進	630万円
新規	農林水産物の情報発信手法の構築	135万円
新規	農業生産工程管理認証取得の推進	50万円
新規	林業の体験イベントの開催	80万円
新規	漁業者の負担軽減による経営支援	37万円
新規	金融機関と連携した新たな創業支援	1,000万円
新規	村上木彫堆朱産業の拡大と後継者育成	750万円
拡充	ふるさと納税で特産品のPR	5,403万円
新規	企業のインフラ環境整備の支援	294万円
継続	観光プロモーションの実施	570万円
拡充	観光ホームページのリニューアル	817万円



拡充

■住宅リフォーム事業補助金
6,000万円
予算額を昨年度の倍にして、さらなる居住環境の向上と地域経済の活性化を図ります。

安全で快適な住みよいまちづくり



継続

歴史的風致維持向上計画の策定 2,380万円
 歴史まちづくり法に基づく計画を策定(国へ申請)し、県内初の認定を目指します。



継続

■生活交通の確保 1億8,014万円
 学生の路線バス運賃を半額にし、保護者の負担軽減とバスの利用率向上を図ります。

ほかにもこんなことをします

拡充	まちなか循環バス低床車両購入(債務負担行為)	2,400万円
継続	防犯灯のLED化の推進	3,500万円
継続	日本海沿岸東北自動車道整備推進事業	4,168万円
継続	市道桃川牧目線道路の改良	8,050万円
継続	岩船備前屋排水路の整備	1億6,065万円
新規	消防団に広報指導分団を設置	183万円
継続	消防車両の整備	7,484万円
拡充	地域防災力の向上	401万円

豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり



新規

生涯学習推進センターの駐車場拡張 7,474万円

生涯学習推進センターの隣地を取得し、駐車台数を50台程度増やします。



拡充

非常勤講師(教育補助員等)の配置 8,601万円
 個人の能力に応じたきめ細かな指導で、学力向上を図ります。

ほかにもこんなことをします

継続	奨学金の貸与	1億3,476万円
新規	英語検定料補助金	137万円
拡充	放課後子ども教室の拡充	204万円
新規	伝統行事、伝統芸能の振興	113万円
新規	教育情報センターの空調設備改修	3億77万円
新規	山北総合体育館の耐震補強に着手	2,673万円

簡素で効率の良い行政運営



継続

■第2次総合計画の策定 1,258万円

市民感覚やニーズを取り込み、分かりやすい第2次総合計画を策定します。

新規

■市税などのコンビニ納付導入準備 281万円

平成29年度から、市税などをコンビニで納付できるようにするための準備を行います。

ほかにもこんなことをします

- 継続** ふるさと村上応援寄附金(ふるさと納税) 216万円
- 継続** 定住自立圏事業 28万円

市民と行政の協働による行政運営



拡充

■地域おこし推進事業経費 1,556万円

新たに2人の地域おこし協力隊を配置し、地域の活性化を図ります。

継続

■婚活支援事業交付金 250万円

独身男女の出会いの場の提供や、結婚のための活動を支援してくれる団体などを支援します。(詳細は11ページへ)

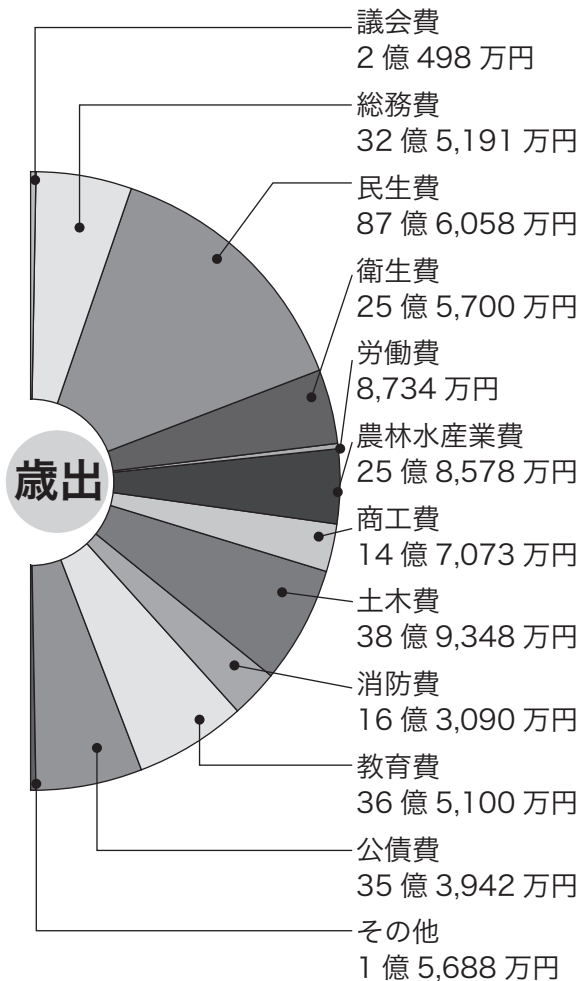
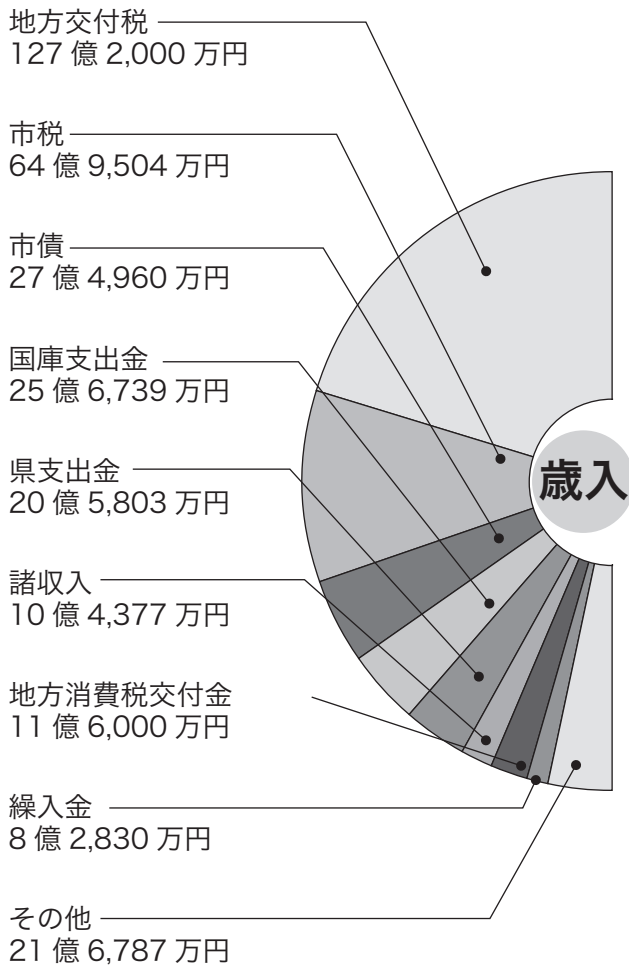
ほかにもこんなことをします

- 拡充** 市民協働のまちづくり推進 6,286万円
- 継続** 空き家バンク移住応援補助金 400万円

平成28年度

一般会計 317億9,000万円

(前年当初比0.4%増)



特別会計 237億9,396万円(前年当初比1.8%増)

会計名	当初予算額	前年当初比
土地取得	6万円	(-)
情報通信事業	5億520万円	(12.5%)
葡萄スキー場	7,070万円	(4.0%)
国民健康保険	78億3,700万円	(▲1.9%)
後期高齢者医療	6億1,800万円	(▲3.7%)
介護保険	74億7,800万円	(4.0%)
下水道事業	53億3,300万円	(7.0%)
集落排水事業	11億2,400万円	(▲0.5%)
簡易水道事業	8億2,800万円	(▲10.7%)

市の財政状況は・・・

平成26年度決算では、財政の健全化判断比率4指標のうち、実質公債費比率は15.5%、将来負担比率は129.7%となっています。実質赤字比率および連結実質赤字比率については該当がなく、4つの指標の早期健全化基準はクリアしています。

しかし、本市の財政力を示す財政力指数は0.374(平成27年度)で、前年度より下がり、地方交付税などの依存財源に頼っている部分がより大きくなっています。

こうした厳しい財政事情の中ですが、継続事業の早期完成に向けた取り組みや、地方創生に向けた新規事業を盛り込み、予算編成を行いました。

上水道事業会計

区分	収入	支出
収益的	11億4,056万円	10億5,600万円
資本的	1億9,480万円	8億5,438万円